

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度 実施状況 個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
文化に触れる機会 の提供	1 誰もが文化に触れ 合ひ、創出し合う機 会の提供	(1)誰もが文化芸術活動に親しむこと ができる場や環境づくり	1.夜間開館等を利用した講座等の実施	生涯学習部公民館	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止や回数等を縮小して実施した講座も多くあったが、夜間や土日祝日等の開館を利用し、10講座のべ273名が参加した。	引き続き、同感染症対策を行いながら広く市民が講座に参加出来るように努める。
				生涯学習部図書館	B	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催が減少した。土日・祝日に開催した講座は22講座のべ377名が参加した。 ・中央図書館予算額 260千円 執行率69.2%	・土日・祝日に開催する講座は人気が高いため、同感染症の蔓延状況を鑑みながら、定員数の見直しを検討したい。 ・中央図書館の生涯学習複合施設という特性を生かし、公民館や指定管理者と連携した講座の開催を検討する。
			2.利用しやすい公民館の施設予約の実施・検討	生涯学習部公民館	B	中央公民館における予約システムの運用状況を把握し、他公民館に導入した際の課題を検討した。指定管理者制度導入の公民館において、利用者アンケートの結果を確認し、施設予約に関する要望の状況を把握した。	利用しやすい施設予約の方法について、引き続き公民館利用者の要望の動向を今後もアンケート等で把握していく。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度 実施状況 個別判定	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定	
文化に触れる 機会の提供	1 誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	(1) 誰もが文化芸術活動に親しむことができる場や環境づくり	3 高齢者を対象とする講座や事業での文化芸術に親しむ内容の充実	健康福祉部高齢者支援課	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定	
					B		・あじさいクラブ(当初3事業を予定) 会員による「芸能・カラオケ大会」「囲碁・将棋大会」の2事業については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止。会員の手工芸・陶芸・書・写真・絵画を展示する「作品展」のみ同感染症の状況が落ち着いている時期に実施した。(期間:12月7日～10日、会場:市役所1階展示スペース、展示作品:98点、延見学者320名)  ・高齢者福祉センター芙蓉園 芙蓉園で活動するサークル(ダンス、体操、カラオケ、陶芸、絵画等)のサークル活動の成果発表会である「文化祭」を予定していたが、中止。  ・老人福祉センターさくらの家 さくらの家で活動するサークル(ダンス、カラオケ、茶道等)のサークル活動の成果発表会である「さくらまつり」を予定していたが、中止。 上記2施設も同感染症拡大防止の観点から中止とした。
				生涯学習部公民館	B		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止や回数等を縮小して実施したが、寿学級を中心とし、8講座のべ2,244人が参加した。寿学級は、全公民館で137回を予定し、101回実施した。
		4.図書館資料の充実	生涯学習部図書館	A	・資料の購入や除籍、寄贈本の受入による蔵書の整備及び更新を行うことで、市民の学習に役立つ新たな資料を提供できた。 ・「予約・リクエスト制度」を通じて、市民ニーズに考慮した資料整備を行った。 ※令和4年3月31日現在 ・市内全館購入点数:16,810点、購入金額:33,346,779円、寄贈本受入冊数1,197冊 ・予算額 33,347千円 執行率100%	引き続き、購入や寄贈本の活用により、資料の充実に努める。	

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定	
文化に触れる機会を提供	誰もが文化に触れ合い、創出し合う機会の提供	(2)地域の文化活動の推進	5.市民文化祭の実施	協働経済部協働政策課	B	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
				生涯学習部社会教育課	B	各コミュニティセンターで例年実施する市民文化祭については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、3施設については中止とし、1施設については、作品展示のみ開催した。参加人数264名	同感染症の状況を踏まえつつ、各コミュニティセンター指定管理者のもとで実施に向けた検討を行う。
				生涯学習部公民館	B	[芸術文化協会] 11行事を開催予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響で一部中止となり、8行事が開催された。  10/24、11/13～14、20、23開催 参加団体数34、参加人数661人、出品点数305点、来場者数のべ1,540人	本市で活動する文化芸術団体の発表機会である本行事の開催支援を継続していく。  (文化ホール休館後の代替会場や開催方法等については検討が必要である。)
			6.市庁舎等での発表機会の提供	生涯学習部社会教育課	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館における市民文化祭はすべて中止としたものの、ロビーや一部諸室を活用することにより、サークルの作成した作品を展示したり、映像を流しほとんどの公民館で代替のイベントを実施した。  ・ハミング階段でのコンサートを年間で計3回実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、1回のみの実施となった。 ・予算額45,000円 執行率30.3%	サークル活動の成果を発表する場として市民文化祭を開催する。 同感染症の影響がある場合も拡大防止の対策を取りながらできる限り文化祭の開催に努める。  同感染症の蔓延状況を見ながら、来年度は2回以上実施したい。(令和4年度予算 15,000円×2回)

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度 実施状況 個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
文化に触れる 機会の提供	誰もが文化に触れ合い、 創出し合う機会の提供	(3) 保育付きや親子で参加できる講座の充実	7. 保育付きの講座やイベントの充実	こども部こども保育課	C	新型コロナウイルス感染症拡大のため開催出来なかった。	同感染症の状況を踏まえながら、事業を実施する。
				こども部子育て支援課	C	年間で計7回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、開催することができなかった。	同感染症の状況を踏まえながら、事業を実施する。
				生涯学習部公民館	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止や回数等を縮小して実施したが、13講座が保育付きで実施され、のべ744人が講座に参加した。	引き続き、同感染症対策を行いながら、充実させるよう努める。
			8. 親子で参加可能な講座やイベントの充実	こども部こども保育課	C	新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、講座やイベントは中止となった。	同感染症の状況を踏まえながら、事業を実施する。
				こども部子育て支援課	C	新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、講座やイベントは中止となった。	同感染症の状況を踏まえながら、事業を実施する。
				生涯学習部公民館	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止や回数等を縮小して実施したが、23講座が保育付きで実施され、のべ1,154人が講座に参加した。	引き続き、同感染症対策を行いながら、充実させるよう努める。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定	
文化に触れる機会を提供	誰もが文化に触れ合い、創出し合う機会の提供	(4) 障がい者や外国人が文化芸術活動を発表・体験する機会の提供	9.障がい者が制作した作品展示や、演奏等発表の場の提供	健康福祉部健康福祉政策課	C	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から「福祉ふれあいまつり」の開催を中止した。	同感染症の状況を踏まえながら、事業を実施する。
				健康福祉部障がい福祉課	A	障害福祉サービス事業所「花の実園」の利用者が作成したちぎり絵を市庁舎にて展示した。 ①令和3年8月30日～9月3日(東京2020パラリンピック競技大会習志野市採火式典で使用したもの)【総合政策課実施】 ②令和4年1月18日～1月25日	障害福祉サービス事業所「花の実園」の利用者が作成したちぎり絵を、市庁舎にて作品展示を行う。
				生涯学習部社会教育課	A	障がい福祉サービス事業所「花の実園」の利用者が制作したちぎり絵作品の展示機会を提案・調整した。 芸術文化協会主催の芸術祭絵画展、習志野市美術会主催の習志野市美術展覧会にて、「花の実園」及び「希望の虹レインボー学園」のちぎり絵作品を展示。 [芸術祭絵画展] 4/16～18開催 来場者数269人 [市展 日本画・洋画の部] 9/16～19開催 来場者数619人	各行事へのちぎり絵の展示は継続するとともに、さらなる展示機会および演奏等発表の場について検討する。
				生涯学習部公民館	B	袖ヶ浦公民館では、新たに特別支援学校等の生徒の作品を文化祭に展示する等の取組も予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため文化祭が中止となった。また、新習志野公民館では、花の実園の利用者の作品を常設展示したり、同施設制作のカレンダーを窓口に設置している。	令和4年度実施検討中
				協働経済部協働政策課	B	・令和3年度は姉妹都市提携35周年事業(相互派遣・受入)が計画されていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ・日本語教室部会主催の日本語教室は、年間約240回対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響から対面開催は中止。全組数(112組)の25%にあたる28組がオンラインによる学習をおこなった。	令和4年度は隔年で実施している青少年交流事業の実施年度にあたるが、感染症の影響により中止が決定している。代替事業として市国際交流協会が計画している「バーチャル交流事業」への協力連携を図る。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定	
文化に触れる機会を提供	2 身近な場所で質の高い文化芸術鑑賞機会の提供	(1) 習志野文化ホール・市民ホールでの幅広い鑑賞機会の提供	11.33.文化芸術の鑑賞機会の提供	生涯学習部社会教育課	B	<p>[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日</p> <p>習志野文化ホールの指定管理者において、自主事業を7公演実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となり、3公演を実施。</p> <p>1.千葉交響楽団 定期演奏会 5/29開催 入場者数587人 2.ディズニー・オン・クラシック 10/1開催 入場者数1,099人 3.習志野第九演奏会 12/26開催 入場者数795人</p> <p>市民ホールでは、自主事業の年間実施件数23件、参加人数約2,441名であり開催を予定していた自主事業については概ね実施されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民ホールの定員を半減(145名)させて運用していた期間がある。</p>	<p>習志野文化ホールの指定管理者において、自主事業を実施予定。クラシック音楽の公演の割合が高いため、多種多様なジャンルでの開催や、パイプオルガンを活用した事業についても実施するよう指定管理者と協議していく。</p> <p>(文化ホール休館後の取り組みについて検討が必要である。)</p> <p>市民ホールでは、参加者アンケート等から利用者の声の吸い上げ、内容のさらなる充実を図る。</p>
			12.34.アウトリーチ事業による鑑賞機会の提供支援	生涯学習部社会教育課	C	<p>習志野文化ホールの指定管理者において、まちかどコンサートや地域イベントへの演奏家の派遣などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止。</p>	<p>習志野文化ホールの指定管理者において、まちかどコンサートや地域イベントへの演奏家の派遣などを予定する。</p> <p>(文化ホール休館後の取り組みについては検討が必要である。)</p>

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
文化に触れる機会を提供	2 身近な場所で質の高い文化芸術鑑賞機会の提供	(2) 文化施設以外での鑑賞機会の提供	13.ICTを利用した文化資料や芸術作品の鑑賞機会の提供	生涯学習部社会教育課	A	市ホームページに新規コンテンツ「習志野デジタル美術館」を新設し、市所蔵絵画や市展受賞作品など計103点を掲載した。	未掲載の作品の掲載や、作品に関する情報を適宜追加するなど、コンテンツのさらなる充実へ向けた取り組みを検討する。
				生涯学習部図書館	B	・令和元年3月より、デジタル化した習志野市内の古い写真や絵葉書をインターネット上で検索・閲覧できる「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」を公開したことに伴い、本サービスを周知することを目的に、東習志野図書館、新習志野図書館、谷津図書館で関連講座を各館1回開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催延期となった。 ※令和4年3月31日現在 ・「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」令和3年度アクセス数 7,608件	・同感染症の蔓延状況を鑑みながら、「習志野市立図書館デジタルアーカイブ」関連講座の開催を検討する。 ・図書館への来館が困難な方や通常の活字による読書が困難な方にも「いつでも、どこでも」読書を楽しめる環境を提供するために、令和4年度より電子図書館を導入予定。
			14.39.文化を楽しむまち歩きができるガイドマップの作成	協働経済部産業振興課	A	・ウォーキングルートで市内スポットを繋ぐ「ならしの駅からマップ」を施設などの窓口で配布し、本市の魅力を広く、周知することができている。 ・ぶらっと習志野観光ガイドブックの一部内容を修正し、改訂版を発行した。 ・予算額 987,000円 執行率98.0%	・楽しくまち歩きをするガイドマップとして活用し、本市の魅力を継続して広く伝える。新たな活用方法等の検討が必要と考える。 ・各課に存在する「まち歩きに関するガイドマップ」などとの連携し、これまでのマップの全体見直しを行い、令和5年度発行に向け、作成業務を実施する。
		生涯学習部社会教育課	A	市内の歴史的な場所や文化財の所在地をまとめた「習志野市 歴史・文化財マップ」を発刊したため、各図書館・各公民館等に50部ずつ配布を行った。また、本市で開催している「習志野市民カレッジ」での講義で使用した。	作成したマップは市民からの評判も良かったため、令和4年度は増刷し配布を実施する。今後は、実際にまち歩きの取組みが確認出来るような方法を検討する必要がある。		
	3 文化に関する情報収集と提供	(1) ページ等を活用した情報提供	15.文化関連のホームページの充実と情報の一元化	生涯学習部社会教育課	A	市ホームページに、公民館講座、図書館、文化財、各施設イベント情報など文化関連の情報を一元化して表示するページ「文化のドア」を新設した。	各情報のさらなる充実を図るとともに、認知度上昇に向けた効果的な広報を検討する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度 実施状況 個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	1 子どもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり	(1) 未就学の子どもの文化芸術による感性を育む機会の提供	16. 講座等でのアートスタートの実施	生涯学習部公民館	A	育児講座や、幼児家庭教育学級と並行して実施される保育等の6講座で、乳幼児の工作や人形劇・音楽の鑑賞等を実施した。	引き続き、乳幼児が文化芸術に触れるきっかけづくりを行う。
			17. ブックスタート事業の継続	こども部子育て支援課	A	・健康支援課が開催する4か月児健康相談の場において、民生委員児童委員の協力のもとブックスタートパック(絵本とコットンバッグ)を贈呈してきたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、民生委員児童委員ではなく、健康支援課職員協力のもと実施。 ・配布数: 878セット	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、継続して事業を実施していく。
				生涯学習部図書館	A	・特別にデザインした図書館カードである「誕生記念図書館カード」を親子で読んでほしい本をまとめたブックリストと共に新生児に配布した。 ※令和4年3月31日現在 ・誕生記念図書館カード配布枚数 1,120枚	引き続き、関係各課と連携しながら事業を進めていく。
			18. 伝統文化が感じられる行事等の実施 (子どもや若い世代)	こども部こども保育課 学校教育課	A	保育所・こども園・幼稚園18か所にてこどもの日、七夕、節分、ひなまつり、餅つき等、5種類の行事を実施し、給食で行事食を提供した。	令和3年度同様、引き続き継続していく。



習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定	
文化をつなぐ継承と育成	1 子どもや若い世代が文化と出会うきっかけづくり	(2) 学校教育における文化芸術活動の推進	19.文化芸術鑑賞・制作・発表などの機会の提供	学校教育部指導課	B	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止)(緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日(まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日 ・ならしの「こども美術館」第15号を発行。本冊1,000部、英字翻訳版220部を作成し、タスカルーサ市及び市内関係施設に配付。庁舎内で開催予定であった、ならしの「こども美術館」原画原作展覧会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ・文集「ならしの」第53号を発行。本冊483部を作成し、市内各小中学校や関係施設に配付。	市内小中学生に1人1台タブレット端末が配付されたことや、ペーパーレス化を進めている現状を鑑み、ならしの「こども美術館」、文集「ならしの」のデジタル化について検討していく。
				生涯学習部社会教育課	A	学校等が次年度円滑に習志野文化ホールを利用出来るよう支援した。(令和4年度利用分 市内学校、ならしの学校音楽祭、TBSこども音楽コンクール等24件分)	学校等のホール利用について円滑に利用出来るよう引き続き支援する。
			20.学校行事や部活動における音楽を発表する機会の充実	学校教育部学校教育課 学校教育部指導課	B	習志野市小中学校音楽会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。習志野市中学校管楽器講座を12月に開催することができた。	令和4年7月に習志野市小中音楽会を習志野文化ホールにて実施予定。習志野市小学校・中学校管楽器講座も実施を計画している。
			21.伝統文化が感じられる行事の実施	学校教育部学校教育課 学校教育部指導課	B	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「令和3年度小中学校席書大会」を中止し、「令和3年度小中学校書初展」を開催方法を変更して実施。各小中学校から代表作品を集め、審査会を経て、特別賞11点を決定した。掲出の同意を得た特別賞11点を、市総合教育センターのホームページに掲載し、多くの市民に閲覧いただく形式として実施した。	令和4年度は「令和4年度小中学校席書大会」を実施予定としているが、新型コロナウイルス感染症の状況をみて、変更する可能性がある。その際は、令和3年度の開催方法に準じて実施をする予定。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度 実施状況 個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	2 文化を次世代につなげる環境の整備	(1) 文化の世代間交流の場の提供	22.27.「伝統文化親子教室」の開催支援	生涯学習部社会教育課	B	・開催場所の制限等新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの実施となった。 ・「伝統文化お琴・三絃教室」については、開催を支援し、ハミング階段でのコンサートについても実施することが出来た。	・同感染症により親子教室の受講生自体が減少しているため、その支援等も行うと共に発表機会を提供していく。
			23.文化芸術団体の発表・展示の場への小中高生の参加環境支援	生涯学習部社会教育課	A	習志野市美術展覧会への来場、及び美術部員を中心として作品を出品するよう促すため学校へのチラシ配布等について支援した。高校生の出品人数 洋画5名 書10名。	引き続き小中高生が文化芸術団体の発表・展示の場への小中高生の参加環境を支援する。
			24.文化を通した世代間交流の場づくり	生涯学習部社会教育課	A	NPO法人習志野第九合唱団と連携し、市内小中高生を対象に「習志野第九演奏会」のリハーサルを無料で公開した。  12/25開催 参加人数56人(小学生44人 中学生12人)	「習志野第九演奏会」のリハーサル公開をこれまで同様、市内小中高生を対象に実施予定。
		(2) 文化財の保存の推進	25.文化財の収集・保存の充実	生涯学習部社会教育課	B	下総三山の七年祭りが開催されたことから、記録用写真約100点を撮影し保存した。また、寄贈された図書の一覧表を作り、保存の充実を図った。	谷津貝塚出土品を中心とした文化財の保存については専門的な保存処理が必要であることから、対応に係る予算の確保を図っていく。
			26.埋蔵文化財調査の充実	生涯学習部社会教育課	A	開発事業計画に伴い、埋蔵文化財保護を目的とした調査を実施した。主に遺跡の性格や範囲を確認するため、確認調査を20件を実施した。さらに、埋蔵文化財調査報告書2件にかかる出土物の実測や分析調査、図面や写真の記録整理等を実施した。	令和5年度より鷺沼地区土地区画整理事業が開始され、確認調査等が見込まれる。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
文化をつなぐ継承と育成	3 伝統文化を担う子どもや若手の育成	(1) 伝統文化を担う子ども・若者の育成	22.27.「伝統文化親子教室」の開催支援<<再掲>>	生涯学習部社会教育課	B	・開催場所の制限等新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの実施となった。 ・「伝統文化お琴・三絃教室」については、開催を支援し、ハミング階段でのコンサートについても実施することが出来た。	・同感染症により親子教室の受講生自体が減少しているため、その支援等も行うと共に発表機会を提供していく。
			28.伝統芸能の体験支援	学校教育部指導課	A	令和3年12月第六中学校において国が主催する「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」における「三曲」の鑑賞・体験事業を実施した。また袖ヶ浦東小学校を中心に主に袖ヶ浦地区において和太鼓の演奏を積極的に行っている。いくつかの小中学校において箏の演奏体験も行った。	国の事業等を活用し鑑賞教室の実施を推進する。箏や和太鼓は備品を持っている学校に限られているため、情報を各校で共有し多くの児童生徒が体験できるよう工夫する。
				生涯学習部公民館	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止や回数等を縮小して実施したが、着付けや華道、和太鼓、かるたや陶芸等、8講座が実施され、子どもを中心にのべ425人が参加した。	今後は同感染症の状況を見ながら新たな内容についても検討していく。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況 個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
文化を活かす活用	1 「音楽のまち習志野」の推進	(1) 「音楽のまち」を学校・団体の活動や交流支援を支える	29.コンクール優秀団体の発表の場と鑑賞機会の提供	学校教育部指導課	C	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からならしの学校音楽会の開催を中止した。	令和4年度は3月にならしの学校音楽祭を開催予定。習志野文化ホールが令和5年度以降休館するため開催方法の検討が必要である。
			30.身近なところで子ども達が目標を持つことができる環境の維持	学校教育部学校教育課 学校教育部指導課	C	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からならしの学校音楽会の開催を中止した。	令和4年度は3月にならしの学校音楽祭を開催予定。習志野文化ホールが令和5年度以降休館するため開催方法の検討が必要である。
		(2) 音楽に親しみ人づくりと人との交流を図る環境	31.地域が一体となって行うコンサートの実施	生涯学習部公民館	C	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館における地域と一体となって行うコンサートはすべて中止となった。	公民館が学習圏会議や地域とともに連携して取り組むコンサートを開催する。同感染症の影響がある場合も感染拡大防止の対策を取りながらできる限りコンサートの開催に努める。
			32.地域の人材を活かした音楽会の実施	生涯学習部社会教育課	B	・市民カレッジで「七年祭り」をテーマにし、菊田神社お囃子連によるお囃子の演奏会を実施出来た。 ・ハミング階段の地元音楽家によるコンサートを企画したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、中止となった。	引き続き、地域の音楽家に発表機会を提供するとともに、それに伴った登録制度についても検討する。
				生涯学習部公民館	C	袖ヶ浦公民館地区学習圏会議によるライトアップセレモニー&ロビーコンサートを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為中止した。	同感染症の状況を見ながら、地域で音楽活動をする方等を取り込んだ音楽会やイベント等を実施する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定	
文化を活かす活用	1 「音楽のまち習志野」の推進	(3) 「音楽のまち」を象徴する習志野文化ホールの充実	11.33.文化芸術の鑑賞機会の提供<<再掲>>	生涯学習部社会教育課	B	<p>[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日</p> <p>習志野文化ホールの指定管理者において、自主事業を7公演実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止となり、3公演を実施。</p> <p>1.千葉交響楽団 定期演奏会 5/29開催 入場者数587人 2.ディズニー・オン・クラシック 10/1開催 入場者数1,099人 3.習志野第九演奏会 12/26開催 入場者数795人</p> <p>市民ホールでは、自主事業の年間実施件数23件、参加人数約2,441名であり開催を予定していた自主事業については概ね実施されたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市民ホールの定員を半減(145名)させて運用していた期間がある。</p>	<p>習志野文化ホールの指定管理者において、自主事業を実施予定。クラシック音楽の公演の割合が高いため、多種多様なジャンルでの開催や、パイプオルガンを活用した事業についても実施するよう指定管理者と協議していく。</p> <p>(文化ホール休館後の取り組みについて検討が必要である。)</p> <p>市民ホールでは、参加者アンケート等から利用者の声の吸い上げ、内容のさらなる充実を図る。</p>
			12.34.アウトリーチ事業による鑑賞機会の提供支援<<再掲>>	生涯学習部社会教育課	C	<p>習志野文化ホールの指定管理者において、まちかどコンサートや地域イベントへの演奏家の派遣などを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止。</p>	<p>習志野文化ホールの指定管理者において、まちかどコンサートや地域イベントへの演奏家の派遣などを予定する。</p> <p>(文化ホール休館後の取り組みについては検討が必要である。)</p>
			35.音の響きを重視した誰もが利用しやすい文化ホールの再整備の検討	政策経営部総合政策課	A	<p>習志野文化ホール再建設基本構想の原案を作成し、習志野文化ホール基本構想等検討専門委員会に意見を求めるため、予定通り年間計3回開催した。</p>	<p>・習志野文化ホール再建設基本構想について、令和4年4月にパブリックコメントを実施し、その意見を反映したうえで7月までに策定。 ・7月までに計2回習志野文化ホール再建設基本構想等検討専門委員会を開催し、基本構想案及び今後の基本計画策定に向けた意見を求める。 ・令和4年度内に、基本計画の策定着手の予定。</p>
				生涯学習部社会教育課	A	<p>総合政策課が事務局である習志野文化ホール再建設基本計画等策定委員会に、オブザーバーとして出席。現在のホールの利用状況など情報提供を行い、総合政策課との連携を図った。</p>	<p>誰もが利用しやすい質の高い芸術を楽しめる環境づくりに向けて、引き続き関係各課と連携を図る。</p>

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
文化を活かす活用	2 文化的な資源の活用	(1) 文化財等文化的な資源の周知	36.教育等と連携した文化的な資源の活用	学校教育部指導課	A	学習に関連する図書を公共図書館に収集してもらい、学校児童の読書活動に生かすことを行っている。	学校の児童生徒が、より多くの書籍に触れる貴重な機会となるため、次年度も可能な限り収集し、貸し出しを行うようにする。
				生涯学習部社会教育課	B	江戸川大学の学生2名を令和3年8月10日～12日(3日間)インターンシップで受入れ、埋蔵文化調査室にて資料整理等の実習指導を行った。 市内中学生の職場体験も予定されていたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止となった。	同感染症の状況等に影響されるが、インターンシップや職場体験、学習会等からの依頼に積極的対応し、教育機関と連携していくことが重要である。
				生涯学習部公民館	A	千葉県指定無形文化財である七年祭りや地域の史跡や彫刻を活かした講座等を8事業実施し、のべ226人が参加した。	今後も地域の歴史等を伝える講座を実施する。
				生涯学習部図書館	B	・習志野市及び千葉県に関する図書や行政資料を収集し、各図書館に設置している「郷土行政資料コーナー」に並べている。また、テーマに応じて作成したブックリストの配布及び図書館ホームページへの公開を行った。 ・令和元年2月に、「習志野市立デジタルアーカイブ」について、授業等での活用を促すために学校に紹介したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、学校と連携を図ることが難しかった。	「郷土行政資料コーナー」及び「習志野市立デジタルアーカイブ」について、積極的に関係各課に発信し、利用の促進を図る。
			37.文化財等文化的な資源の情報発信の充実	生涯学習部社会教育課	A	令和3年度は1階展示スペースにて3回の展示を実施した 8月18日～8月27日「下総三山の七年祭り」 10月25日～11月24日「縄文人の全身骨格」写真パネル展 2月1日～ 歴史寄贈品	令和4年度から埋蔵文化財調査室での常設展示を実施する。また、市庁舎1階展示スペースでは、年3回程度テーマに沿った展示を実施する。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度 実施状況 個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的 数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載し てください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防 止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や 令和4年度以降の実施予定
文化を活かす 活用	2 文化的資源の活用	(2) 文化と他分野との連携による地域の活性化につなげる仕組みづくり	38.特産品開発等の産業への文化の活用	協働経済部産業振興課	B	習志野市で製造・加工・販売される食品・工芸品等で、習志野市らしさを表現する商品を「習志野市ふるさと産品」として、新たに認定されたものはないが、にんじん、バラ、ドイツとの交流の歴史など、習志野市ゆかりの原材料や、エピソードをモチーフとした商品を市内外にPRするツールとして活用した。 なお、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、直接イベント等でPRすることは出来なかった。	習志野商工会議所などと連携を図り、地域の活性化につながる、習志野市らしさを表現する商品の開発等に向け検討していきたい。
			14.39.文化を楽しむまち歩きができるガイドマップの作成<<再掲>>	協働経済部産業振興課	A	・ウォーキングルートで市内スポットを繋ぐ「ならしの駅からマップ」を施設などの窓口で配布し、本市の魅力を広く、周知することができている。 ・ぶらっと習志野観光ガイドブックの一部内容を修正し、改訂版を発行した。 ・予算額 987,000円 執行率98.0%	①楽しくまち歩きをするガイドマップとして活用し、本市の魅力を継続して広く伝える。新たな活用方法等の検討が必要と考える。 ②各課に存在する「まち歩きに関するガイドマップ」などとの連携し、これまでのマップの全体見直しを行い、令和5年度発行に向け、作成業務を実施する。
				生涯学習部社会教育課	A	市内の歴史的な場所や文化財の所在地をまとめた「習志野市 歴史・文化財マップ」を発刊したため、各図書館・各公民館等に50部ずつ配布を行った。また、本市で開催している「習志野市民カレッジ」での講義で使用した。	作成したマップは市民からの評判も良かったため、令和4年度は増刷し配布を実施する。 今後は、実際にまち歩きの取組みが確認出来るような方法を検討する必要がある。

習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定
文化を活かす活用	3 公民館活動等を通じたまちづくり	(1) 交流を促す文化活動の活性化	40. 交流を通じた発表の場づくり	協働経済部協働政策課	C	新型コロナウイルス感染症の影響により、ミニコンサートや各サークル活動団体の活動発表などの不特定多数の利用者が交流できる事業は実施できなかった。	同感染症の状況を踏まえつつ、各コミュニティセンター指定管理者のもとで実施に向けた検討を行う。
				生涯学習部公民館	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止により、不特定多数が集まるイベントは出来なかったが、人数を絞ったり、展示による発表は実施した。	同感染症の状況を見ながら、発表や交流のきっかけづくりを実施していく。
			41. 展示スペースの提供	協働経済部協働政策課	B	一部の施設において市民文化祭において作品発表のための展示を行ったほか、地域の大学との連携による写真展や花の実園による「ちぎり絵展」を行った。	同感染症の状況を踏まえつつ、各コミュニティセンター指定管理者のもとで実施に向けた検討を行う。
				生涯学習部公民館	A	利用サークル等の作品等を常設、または入れ替えて展示している。また、ロビー等期間を限定して展示を行い、発表の場を提供している。	引き続き、展示スペースの場を提供し、発表と交流の場を創出する。
		(2) 大学と連携した公民館活動	42. 地元大学と連携した公民館事業の実施	生涯学習部公民館	B	新型コロナウイルス感染症の蔓延により中止となった講座もあったが、地元大学等と協力して講座や事業を実施することが出来た。	今後も連携した事業を増やす方向で検討を進める。
			43. 学生の公民館活動への参加機会の提供	生涯学習部公民館	A	地元にある高校や大学に通う学生に参加してもらい、講座や事業を実施出来た。6講座実施し、のべ329人が参加した。	学生等が参加しやすいような環境づくりや周知方法を検討しつつ、引き続き実施していく。



習志野市文化振興計画実施状況調査表(R3)

A: 実施予定事項が概ねできた B: 実施予定事項が一部できた C: 実施予定事項が全くできなかった

方向性	施策	小施策	取り組み内容	担当部担当課	令和3年度実施状況個別判定	事業実施における課題点や令和4年度以降の実施予定		
文化を活かす活用	3 公民館活動等を通じたまちづくり	(3) 社会教育を通じた地域の魅力の発信	44.まちづくりや地域の魅力について話し合う場の提供	生涯学習部社会教育課	A	[令和3年度] A又はBをつけた場合は、実施状況を可能な限り具体的な数値も入れて記載してください。 Cをつけた場合は実施できなかった理由などを記載してください。 ※令和3年度千葉県への緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置発出期間(原則、イベント等は中止) (緊急事態宣言)令和3年8月2日～9月30日 (まん延防止等重点措置)令和3年4月20日～8月1日	民間付帯施設の賃貸住宅に新たに入居する学生を巻き込んだ取り組みを推進する。	
				生涯学習部公民館	B	各公民館ごとの学習圏会議を中心に地域イベント等について話し合ったりしたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、イベントの中止が多かった。	同感染症の状況を見て、次年度も引き続き実施予定。	
			45.地域を活性化させるイベントやまつりの実施	生涯学習部公民館	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、かるた等密になりやすいものや、まつりやバザー等不特定多数の人を集める行事は実施出来なかったが、事前予約制とする等開催方法を工夫し、まち歩き等の事業は実施した。	同感染症の状況を見ながら、次年度も引き続きイベントやまつりを実施予定。	
			(4) 地域を担う人材の活用	46.生涯学習複合施設としてのプラッツ習志野の活用	生涯学習部社会教育課	B	公民館、フューチャーセンター等において多くの講座や人材を育成するための事業が実施されており、新たな市民活動の機会創出の場となっているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部活動が制限された。 ・フューチャーセンター参加者数のべ1,727人 ・フューチャーセンター事業から新規に公民館登録団体5サークル。 ・クリエイターズクラブメンバー(フューチャーセンター利用者)登録者数137名 ・その他(市民作家作品展示販売「ヒトコマ雑貨市」から本市ふるさと納税返礼品選定、プレーパーク事業へのプレーパークサポーターとして企画運営参加等。	より多くの魅力的なイベント等を企画・開催し、市民活動の更なる活性化を図る。特に市民活動を発掘、発信する場となっているフューチャーセンターの活動をより拡大していく。また、「新しい生活様式」を踏まえたうえで、講座やイベントを実施する。
		生涯学習部公民館			B	プラッツ習志野に設置しているフューチャーセンターでは、日ごろから地域で活動したい方々が訪問されていることから、中央公民館もこれらの方々の活動を支援するため、職員を1名配置し、フューチャーセンターとの連携を図った。	プラッツ習志野を活用し、地域で活動したい方々が生き生きと活躍していただけるようにフューチャーセンターと公民館が連携して共同事業を実施する。	
		47.市民カレッジ卒業生が活躍できる仕組みづくり		生涯学習部社会教育課	C	・公民館実習を行い、公民館で活動する方向につなげることを考えたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、実習が中止となった。	・卒業生を地域活動につなぐ仕組みとして、「習志野市民カレッジOBボランティア制度」を開始した。当面は、ボランティア登録したOBは、社会教育課等各所管からの要請により放課後子供教室の活動サポートや公民館等で実施されるイベントの補助等を行う。 ・履修することによりボランティア等につなげられるようなカリキュラムを今後も作りたい。	